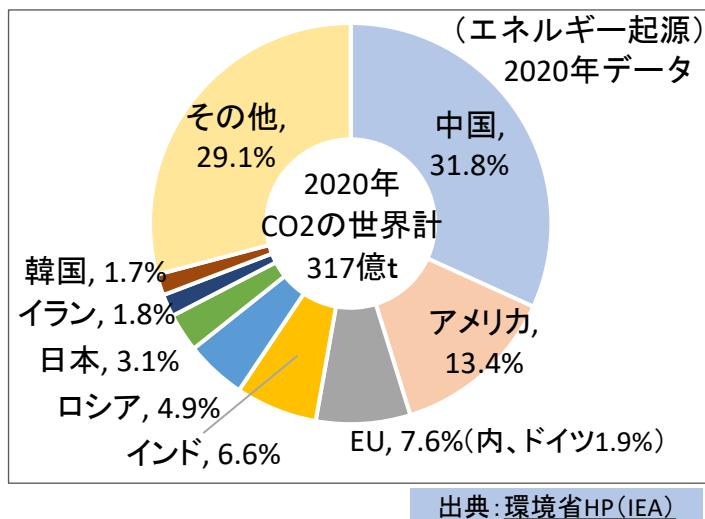
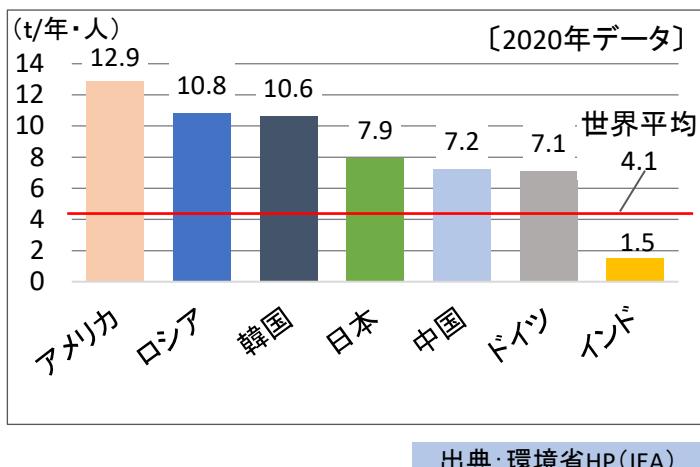


III-1-③主要7か国のCO2排出量とその一人当たりのCO2排出量

温室効果ガスとしては、二酸化炭素、メタン、一酸化窒素、代替フロン等4ガスがありますが、その中でも最も多いものはCO2です。下図は、エネルギー起源CO2の国別排出量です。



主要7か国の二酸化炭素排出量



主要7か国等の一人当たりCO2排出量

世界の二酸化炭素排出量は、2019年度で約336億トン、2020で317億トンと減少しました。中国とアメリカだけで4割を超えています。

主要7か国における一人当たりのCO2排出量では、アメリカが最も多く、日本はドイツと同水準となっています。

また、日本の一人当たり年間7.9トンは、一日当たりでは22kgにもなるのですが、これを2050年には"0"にするのがカーボンニュートラル(C/N)です。

【参考】

	日本	EU	英国	米国	中国
2020				2021年1月 パリ協定復帰 を決定	
2030	2013年度比で 46%減、さらに 50%の高みに向 けて挑戦(温対会 議・気候サミット にて総理表明)	1990年比で 少なくとも 55%減(NDC)	1990年比で 少なくとも 68%減(NDC)	2005年比で 50~52%減 (NDC)	2030年までに CO2排出を減 少に転換 (国連演説)
2040					
2050	カーボン ニュートラル (法定化)	カーボン ニュートラル (長期戦略)	カーボン ニュートラル (法定化)	カーボン ニュートラル (大統領公約)	
2060					カーボン ニュートラル (国連演説)

出典: エネルギー白書2021 第122-1-2

主要国のかーボンニュートラル